令和元年度 事業報告書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

一般財団法人 高銀地域経済振興財団

1. 実施事業の概要

令和元年度事業計画に基づき以下の事業を実施した。

(1) 地域社会の振興や地域経済の活性化につながるような取組みを実施している団体等に対する助成や支援、情報の提供等を通じて、地域の発展に貢献することを目的とする事業

- ① 高知県の漁業や観光、食文化における重要な資源であるカツオの資源管理強化と資源回復の実現に向けた活動を支援するため、令和元年7月22日に高知カツオ県民会議に対し100万円を支援した。
- ② 高知県内の魅力ある優れた加工食品を全国にアピールし、県産品の消費や販路の拡大、さらには高知県経済の活性化につながるようなビジネスチャンスの場を提供することを目的とした商談会「地方創生『食の魅力』発見商談会2019」に参加を希望する地元企業を公募した。また、同商談会の開催を案内するためのチラシを作成し、高知銀行の高知県内店舗に備え置きして周知を図った。
商談会は令和元年6月12日（水）に TRC 東京流通センター（東京都大田区）で開催され、応募のあった下記企業19社が参加した。助成金は、この商談会に過去に参加実績がなく、初めて参加する事業者10社に対し1社あたり15万円、過去に参加実績のある事業者9社に対し1社あたり10万円とし、8月1日に総額240万円の助成金を贈呈した。

初参加企業（10社：助成金額1社あたり15万円）		
1	株式会社ウェルカムジョン万カンパニー	高知県土佐清水市天神町 6-18
2	一般社団法人大川村ふるさとむら公社	高知県土佐郡大川村小松 27-1
3	有限会社高知アイス	高知県吾川郡いの町下八川乙 683
4	三代目矢野金光農園株式会社	高知県土佐市宮ノ内 640-1
5	四万十うなぎ販売株式会社	高知県高知市一宮中町 1 丁目 14-40
6	四万十生産有限会社	高知県高岡郡四万十町大正 680-3
7	四万十ノ株式会社	高知県高岡郡四万十町北琴平町 1-24
8	株式会社白石味噌店	高知県高知市大津乙 1910-11
9	株式会社近森産業	高知県高知市稲荷町 103
10	株式会社土佐力舎	高知県室戸市羽根町乙 3209-327

参加実績のある企業（9社：助成金額1社あたり10万円）		
1	高知県特産品販売株式会社	高知県高知市新田町 14-14
2	株式会社四国健商	高知県高知市桜井町 1 丁目 1-17
3	しまんと百笑かんぱに株式会社	高知県四万十市具同 5975-1
4	株式会社末広	高知県土佐郡土佐町田井 1353-2
5	株式会社たけまさ商店	高知県土佐清水市中浜 236
6	株式会社タナカショク	高知県高知市布師田 1761
7	有限会社土佐佐賀産直出荷組合	高知県幡多郡黒潮町佐賀 80
8	土佐食株式会社	高知県土佐清水市三崎 543
9	株式会社掘	高知県高知市春野町東諸木 1445

※ 参加企業からいただいた主な感想等は以下のとおり

- ・数先より好評価をいただき、商談が継続している。会場も広くゆっくりと話ができて、今後の取引に繋がりそうで、出展してよかった。
- ・即決の商談はなかったが、採用を検討しているバイヤーや加工業者との商談ができた。
- ・取引先の増加により、売上の増加が見込める。
- ・好評価を得た商品もあったが、原材料の産地について意見をいただいた商品もあった。
- ・自社商品に対する好評価を多数いただいたが、価格が高いことから、更なる努力が必要。金融機関が出展支援していることから、バイヤーに対する安心感もあり有難い。
- ・新規先の開拓、既先の深耕が図れたほか、新たなジャンルのバイヤーとも商談ができ、非常に有意義な商談ができた。
- ・商品に興味を持ってもらえ、今後に期待する。自社ブースのアピールが弱いと感じたので、今後改善していきたい。
- ・自社商品の成約に向けたきっかけができたほか、中元・歳暮への採用に向け内諾を得た商品もあった一方で、商品数・サンプルが少なく、成果が得られなかったケースもあった。他の出展企業との交流もあり、有意義な商談会であった。
- ・高知の食文化をアピールしているもののまだ十分ではないが、このような機会を最大限に生かし、地産外商を進めていきたい。
- ・40社以上と面談し、関心を持っていただいた企業も多かった。自社商品のポテンシャルは高いと感じたが、物流コスト等に課題がある。こだわりの商品を取り扱う先に焦点を当てフォローアップしていく。
- ・既存先に対する商品の紹介や情報交換ができた。新規取引が見込めるバイヤーも見受けられ、フォローアップを図る。
- ・既存取引先にも久しぶりに会うことができ、新商品の紹介等有意義な商談会であ

った。

- ・商談数は昨年より減少した。自社商品が、バイヤー企業のニーズに合えば、今後期待できる。
- ・多数のバイヤーに会うことができ、見積りの依頼を数件受けた。高知銀行担当者にサポートもいただき感謝している。
- ・商品をアピールする資料が少ないと感じた。
- ・多くの方に試食していただけたものの、自社商品の知名度を高めていく必要性を感じた。
- ・バイヤーが熱心で、見積りの依頼を多数受けた。
- ・多くの新規先と接触できたことから、成約につなげていきたい。今後、首都圏への営業活動が必要であると感じた。

- ③ 地域のこどもたちへの金融知識の普及と併せ、科学に親しみながら学ぶことを目的とした「こども金融・科学教室」を、高知銀行、高知工業高等専門学校と共同で平成20年より毎年開催中。

令和元年8月17日（土）に高知市の「オーテピア」で開催した同教室では、高知銀行の行員と高知高専の教授が下記の授業を行い、小学生ら54名と保護者36名、合計90名にご参加いただいた。

- ・「お金と暮らし」

紙幣や電子マネー等に関する三択式のクイズや、模擬紙幣による文房具類の買物体験を通じて、収支に関する理解を深めるなどの講義を行ったほか、算札にもチャレンジした。

- ・「リニアモーターカーのしくみを学ぼう！」

磁石等を使用したレールを工作して、リニアモーターカーの動力のしくみ等を解説した。

令和2年2月29日（土）に四万十町で開催を予定していた同教室は、31名の申込みを受付していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して開催を中止した。

- ④ 産学連携による共同研究やベンチャー企業の育成支援等を通じて、地域経済の振興と地域社会の発展に貢献することを目的に、高知県内の大学等が保有する特許や研究技術等を活用して事業を展開または創業する事業者の公募を行い、選考のうえ応募のあった下記企業に対し30万円の助成金を贈呈した。

助成企業	ニレック株式会社 代表取締役 佐藤隆幸 様
助成事由	内視鏡外科手術において、高知大学が保有する近赤外蛍光樹脂製標識具に関する特許技術を実用化し、課題の解決と医療機器事業につなげる。
実施日	令和元年8月29日

- ⑤ 地域の子どもたちを対象に、競技の普及やジュニアの育成を通じて地域のスポーツ振興に貢献していくことを目的とした「こどもサッカー教室」を、高知銀行ならびに高知大学と共同で県内3カ所において開催。対象は幼稚園児・保育園児から小学校高学年までの子どもたちで、年齢やサッカー経験の有無により数チームに別れて高知大学サッカー部員が指導し、高知銀行サッカー部員らがサポートした。

- ・令和元年10月26日（土）に野市町の野市ふれあい広場で開催した「こどもサッカー教室 in 野市」では156名にご参加いただいた。

- ・令和元年11月23日（土）に黒潮町の土佐西南大規模公園で開催した「こどもサッカー教室 in 黒潮」では98名にご参加いただいた。

- ・令和元年12月1日（日）に高知市の高知県立春野総合運動公園で開催した「こどもサッカー教室 in 春野」では238名にご参加いただいた。なお当日は、一般社団法人高知県サッカー協会が推薦した県内4チーム（60名）による交流戦「第6回こうぎんカップU-10ジュニアサッカー大会」も同時に開催した。

こどもサッカー教室参加者の合計は、前年より27名減少して492名となった。
（平成30年度519名、平成29年度370名、平成28年度495名）

- ⑥ 高知県内企業のニーズと、高知工業高等専門学校が保有している研究技術との連携を図ることで、地域の発展と産業の振興に寄与することを目的とした「シーズ発表会」を、高知銀行と高知工専との共同で令和元年11月22日（金）に高知銀行本店において開催し、高知県内の企業など24社から28名にご参加いただいた。

発表会では「県内ニーズに応える農業分野」をテーマに、下記の研究技術について説明と質疑応答が行われた。

廃棄しょうがの再利用の試み ～「しょうがペーパー」の開発～
農業分野に活用できるファインバブル（微細気泡）技術 ～事例紹介から～
熱的快適性指標PMVに基づく空調自動制御
地域をフィールドとした課題解決型教育プログラム

また、高知高専教員による個別技術相談が行われたほか、一般社団法人高知県発明協会によるINPIT高知県知財総合支援窓口も併設した。

- ⑦ 学術および科学技術の振興に取り組む方を対象に、地域経済の振興と地域社会の発展につながるような研究課題等を公募した。応募いただいた11名の方の研究概要について選考を行い、下記4名の方に一人あたり各20万円宛、合計80万円の助成金を贈呈することを決定した（令和2年3月3日）。

助成対象者	研究内容
高知大学 教授 内田 一茂 様	地域医療連携を用いた早期膵癌発見を目的とした膵癌検診の有用性に関する前向き研究

高知工業高等専門学校 准教授 谷本 壮 様	中周波電源を用いた酸素プラズマ除膜技術に関する研究
高知県立大学 准教授 川上 理子 様	高齢者の在宅看取りに対する自己効力感と先行要因の明確化
高知工科大学 講師 村上 達也 様	学校現場における児童生徒の非認知的能力の開発

- ⑧ 高知県内事業者の各種商談会への出展支援を行うことを目的に、高知県産業振興計画に掲げる地産外商戦略の一環として、同商談会への出展支援を主導している一般財団法人高知県地産外商公社に対し、支援資金100万円を贈呈した（令和2年3月17日）。

令和元年度に高知県地産外商公社が取り組んだ主な商談会は下記のとおり

- ・第22回ファベックス2019（平成31年4月17日～19日）
- ・第10回関西居酒屋産業展（令和元年5月14日～16日）
- ・フードストアソリューションズフェア2019（令和元年7月4日～5日）
- ・第29回NAGOYAフードビジネスショー（令和元年9月18日～19日）
- ・土佐っておいしい！食の大商談会2019（令和元年10月30日）
- ・【名古屋】第2回土佐の宴（令和元年11月11日）
- ・FOOD STYLE 2019 in FUKUOKA（令和元年11月13日～14日）
- ・第54回スーパーマーケット・トレードショー（令和2年2月12日～14日）

（2）経済・産業動向や地域市場の調査及びその情報の提供

県内各地の経済産業動向等を取りまとめた「こうぎん景況報告」を5月に発行した。

- ・令和元年5月発行 ～ No. 596春号

なお、統計データの改ざん問題を受けて、精緻なデータを入手できるまでのタイムラグが拡大しているほか、インターネットなどデータ収集手段の多様化の進展や、本誌を活用いただける機会の減少等もあって、No. 596春号の発行後は休刊とした。

（3）中小企業の経営改善に資する指導、教育、情報の提供、並びに企業診断

- ① 中小企業事業者向けのセミナーを、一般社団法人ビジネスサポートこうち・高知銀行と共同で令和元年7月3日に高知銀行本店で開催し、地元企業25社から28名の方にご参加いただいた。

テーマ：働き方改革関連法の解説と実務対策
事業承継計画の作成の仕方

- ② 雇用の安定や職場環境の改善をはじめとした、各種支援制度を紹介する「雇用・労働分野関係助成セミナー」を、高知労働局と共同で令和元年7月11日（木）に高知銀行本店で開催し、地元企業55社から65名の方にご参加いただいた。

テーマ：高知労働局の支援制度について
働き方改革関連法の概要について
生産性向上人材育成センターにおける支援メニューの紹介

(4) 公益的な団体等（地方自治体ならびに大学法人等）への寄付

該当なし。

2. 役員に関する事項

理事	森下勝彦（理事長）
	和田廣男
	海治勝彦
	三宮昌子
	成瀬洋
	田村忍
監事	川崎真二
評議員	森下洋司
	小松正義
	小野節雄

（2020年3月31日現在、理事6名 監事1名 評議員3名）

貸借対照表

令和2年3月31日現在

科 目	令和元年度末	平成30年度末	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(普通預金)	8,169,888	3,867,000	4,302,888
流動資産合計	8,169,888	3,867,000	4,302,888
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(定期預金)	261,000,000	273,000,000	△ 12,000,000
(その他)	0	0	0
基本財産合計	261,000,000	273,000,000	△ 12,000,000
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	261,000,000	273,000,000	△ 12,000,000
資産合計	269,169,888	276,867,000	△ 7,697,112
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	269,169,888	276,867,000	△ 7,697,112
(うち基本財産への充当額)	261,000,000	273,000,000	△ 12,000,000
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	269,169,888	276,867,000	△ 7,697,112
負債および正味財産合計	269,169,888	276,867,000	△ 7,697,112

正味財産増減計算書

令和元年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	令和元年度	平成30年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	23,215	24,136	△ 921
定期預金利息	23,215	24,136	△ 921
その他	0	0	0
② 雑収入	79	67	12
普通預金利息	79	67	12
その他	0	0	0
③ 受取補助金等	0	0	0
④ その他(受取寄付金)	0	0	0
経常収益計	23,294	24,203	△ 909
(2) 経常費用			
① 事業費	7,558,480	11,490,123	△ 3,931,643
支払助成金	3,300,000	3,500,000	△ 200,000
支払寄付金	0	2,500,000	△ 2,500,000
印刷製本費	78,825	395,220	△ 316,395
支払手数料	28,826	14,040	14,786
その他	4,150,829	5,080,863	△ 930,034
② 管理費	101,926	101,818	108
会議費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
図書新聞費			0
雑費	101,062	101,062	0
支払手数料	864	756	108
経常費用計	7,660,406	11,591,941	△ 3,931,535
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,637,112	△ 11,567,738	3,930,626
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	0	0	0
② 固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損	0	0	0
② 固定資産減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,637,112	△ 11,567,738	3,930,626
法人税、住民税及び事業税	60,000	60,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,697,112	△ 11,627,738	3,930,626
一般正味財産期首残高	276,867,000	288,494,738	△ 11,627,738
一般正味財産期末残高	269,169,888	276,867,000	△ 7,697,112
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	269,169,888	276,867,000	△ 7,697,112

正味財産増減計算書内訳表

令和元年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	実施事業等会計						その他会計	法人会計	合計
	継1	継2	継3	寄1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0		23,215	23,215
定期預金利息								23,215	23,215
その他									0
② 雑収入	0	0	0	0	0	0		79	79
普通預金利息								79	79
その他									0
③ 受取補助金等	0	0	0	0	0	0			0
④ その他(受取寄付金)	0	0	0	0	0	0			0
経常収益計	0	0	0	0	0	0	0	23,294	23,294
(2) 経常費用									0
① 事業費	7,203,509	78,825	247,320	0	28,826	7,558,480	0	0	7,558,480
支払助成金	3,300,000					3,300,000		0	3,300,000
支払寄付金				0		0		0	0
印刷製本費		78,825				78,825		0	78,825
支払手数料					28,826	28,826		0	28,826
会議費他	3,903,509		247,320			4,150,829		0	4,150,829
② 管理費	0	0	0	0	0	0	0	101,926	101,926
会議費						0			0
消耗品費						0			0
租税公課						0			0
図書新聞費						0			0
雑費						0		101,062	101,062
支払手数料						0		864	864
経常費用計	7,203,509	78,825	247,320	0	28,826	7,558,480	0	101,926	7,660,406
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,203,509	△ 78,825	△ 247,320	0	△ 28,826	△ 7,558,480	0	△ 78,632	△ 7,637,112
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
① 固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
① 固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,203,509	△ 78,825	△ 247,320	0	△ 28,826	△ 7,558,480	0	△ 78,632	△ 7,637,112
法人税、住民税及び事業税								60,000	60,000
当期一般正味財産増減額	△ 7,203,509	△ 78,825	△ 247,320	0	△ 28,826	△ 7,558,480	0	△ 138,632	△ 7,697,112
一般正味財産期首残高								276,867,000	276,867,000
一般正味財産期末残高									269,169,888
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額									
指定正味財産期首残高									
指定正味財産期末残高						0	0	0	0
III 正味財産期末残高									269,169,888

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当事項はありません。
2. 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
3. 会計方針の変更
該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当事業年度末残高
基本財産				
定期預金	273,000,000	0	12,000,000	261,000,000
その他	0	0	0	0
小 計	273,000,000	0	12,000,000	261,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-
合 計	273,000,000	0	12,000,000	261,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	当事業年度末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
定期預金	261,000,000	-	-	-
国 債	-	-	-	-
小 計	261,000,000	-	-	-
特定資産				
退職給付資産	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-
合 計	261,000,000	-	-	-

6. 担保に供している資産
担保に供している資産はありません。
7. 保証債務等の偶発債務
該当事項はありません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項はありません。
 9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当事項はありません。
 10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項はありません。
 11. 関連当事者との取引の内容
該当事項はありません。
 12. 重要な後発事象
該当事項はありません。
 13. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項
該当事項はありません。
-

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しております。
2. 引当金の明細
該当事項はありません。

財 産 目 録

2020年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	当事業年度末残高	使用目的等
I 資産の部			
1. 流動資産			
(普通預金)	高知銀行 本店	8,169,888	事業費および管理費に使用
流動資産合計		8,169,888	
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(定期預金)	高知銀行 本店	261,000,000	事業費および管理費に使用 (余剰資金の運用)
基本財産合計		261,000,000	
(2)特定資産		0	
(3)その他固定資産		0	
固定資産合計		261,000,000	
資産合計		269,169,888	
II 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負債合計		0	
正味財産		269,169,888	

収支計算書

令和元年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	21,750	23,215	1,465	
定期預金利息	21,750	23,215	1,465	
②雑収入	50	79	29	
普通預金利息	50	79	29	
③補助金等収入	0	0	0	
④その他	0	0	0	
事業活動収入計	21,800	23,294	1,494	
2. 事業活動支出			0	
①事業費支出	11,380,000	7,558,480	△ 3,821,520	
支払助成金	3,700,000	3,300,000	△ 400,000	
支払寄付金	0	0	0	
印刷製本費	400,000	78,825	△ 321,175	
支払手数料	30,000	28,826	△ 1,174	
会議費	7,250,000	4,150,829	△ 3,099,171	
その他	0	0	0	
②管理費支出	120,000	101,926	△ 18,074	
会議費	0	0	0	
雑費	100,000	101,062	1,062	
図書新聞費	0	0	0	
支払手数料	20,000	864	△ 19,136	
消耗品費	0	0	0	
事業活動支出計	11,500,000	7,660,406	△ 3,839,594	
法人税、住民税及び事業税	60,000	60,000	0	
事業活動収支差額	△ 11,538,200	△ 7,697,112	3,841,088	
II 投資活動収支の部			0	
1. 投資活動収入			0	
①投資有価証券売却収入	0	0	0	
②基本財産取崩収入	12,000,000	12,000,000	0	
投資活動収入計	12,000,000	12,000,000	0	
2. 投資活動支出			0	
①投資有価証券取得支出	0	0	0	
②その他	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	12,000,000	12,000,000	0	
III 財務活動収支の部			0	
1. 財務活動収入			0	
①借入金収入	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
①借入金返済支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	461,800	4,302,888	3,841,088	
前期繰越収支差額	3,867,000	3,867,000	0	
次期繰越収支差額	4,328,800	8,169,888	3,841,088	

注記事項

1. 借入金限度額 0円
2. 債務負担額 0円

監 査 報 告 書

令和2年4月17日

一般財団法人 高銀地域経済振興財団
理事長 森下 勝彦 殿

一般財団法人 高銀地域経済振興財団

監事 川崎 真二

私は、一般財団法人高銀地域経済振興財団の2019年4月1日から2020年3月31日までの財務諸表、すなわち、令和元年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下、「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、わが国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、わが国において一般的に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、一般財団法人高銀地域経済振興財団の2020年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（2005年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、一般財団法人高銀地域経済振興財団の令和元年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

一般財団法人高銀地域経済振興財団と私との間には、特段の利害関係はない。

以 上